

3年日本史(久下)講習 史料学習 その4 要注意史料・原始古代史編

[]組[]番[]

[O1] (史料集16~17、教科書21ページ)

A. 夫れ(a **楽浪**)海中に倭人有り、分れて(b **百余**)国と為る。歳時を以て来り献見すと云ふ。
B. ①建武中元二年、倭の(c **奴**)国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。倭国の極南界なり。(d **光武**)、賜ふに印綬を以てす。②安帝の永初元年、倭国王帥升等、(e **生口**)百六十人を献じ、請見を願ふ。

問1 (a)~(e)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 ①・②はそれぞれ西暦何年にあたるか。 ① [**57**] ② [**107**]

問3 A・Bの出典史料名を書きなさい。 A [**漢書地理志**] B [**後漢書東夷伝**]

[O2] (史料集17~21、教科書22ページ)

倭人は(a **帯方**)の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す。旧(b **百**)余国、漢の時朝見する者あり。今使訳通ずる所(c **三十**)国。…(d **下戸**)、(e **大人**)と道路に相逢へば…。其の国、本亦男子を以て王と為す。住まること七、八十年、倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり。乃ち共に一女子を立てて王と為す。名を(f **卑弥呼**)と曰ふ。(g **鬼道**)を事とし、能く衆を惑はす。…①景初二年六月、倭の女王、大夫(h **難升米**)を遣し②郡に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。…(f)以て死す。…更に男王を立てしも、國中服せず、更々相誅殺し、当時千余人を殺す。復た(f)の宗女(i **壹与**)の年十三なるを立てて王と為す。 『(j **魏志倭人伝**)』

問1 (a)~(j)に当てはまる語句を書き入れなさい。※jはこの史料の出典

問2 下線部①は「景初3年」の誤りとされる。「景初3年」は西暦何年にあたるか。 [**239**]

問3 下線部②の郡名を書け。 [**帯方**] 郡

[O3] (史料集22、教科書26ページ)

①百残・(a **新羅**)は旧是れ属民にして、由来朝貢す。而るに(b)は、②辛卯の年を以て来りて海を渡り、百残・□□・□羅を破り、以て臣民と為す。『(c **高句麗好太王碑文**)』

問1 (a)~(c)に当てはまる語句を書き入れなさい。※cはこの史料の出典

問2 ②は西暦何年か。 [**391**]

[O4] (史料集24、教科書27ページ)

(a **興**)死して弟(b **武**)立つ。…順帝の①昇明二年、使を遣して上表して曰く、「封国は偏遠にして、藩を外に作す。昔より祖禰躬ら甲冑を擐き、山川を跋涉して寧処に違あらず。東は(c **毛人**)を征すること五十五国、西は(d **衆夷**)を服すること六十六国、渡りて海北を平ぐる事九十五国……」と。 『(e **宋書倭国伝**)』

問1 (a)~(e)に当てはまる語句を書き入れなさい。※eはこの史料の出典

問2 ①は西暦何年にあたるか。 [**478**]

[05] (史料集25ページ)

①^{しんがい}辛亥年七月中記す。平獲居臣、上つ祖、名は意富比嚴。其の兒、多加利足尼。……其の兒、名は平獲居臣、世々、杖刀人の首として、事へ奉り来り今に至る。②^{うかた}獲加多支鹵大王の寺、斯鬼宮に在る時、吾天下を左け治む、此の百練の利刀を作らしめ、吾が事へ奉る根原を記すなり。

- 問1 ①は西暦何年か。(471)
 問2 ②の読み方を書きなさい。(**ワカタケル**)
 問3 この銘文が記されている鉄剣が出土した古墳名を書け。(**稻荷山**)古墳

[06] (史料集28ページ)

①^{しきしまの}志^{みよ}癸^{つちのえうま}嶋天皇の御世②^{つちのえうま}戊午年十月十二日、(a **百濟**)国主の明王、始めて^{ならび}仏像^{ならび}經教^{ならび}媚^{ならび}に僧等^{ならび}を度し奉る。勅して(b **蘇我稲目**)宿禰の大臣に授けて興隆せしむる也。

- 問1 (a) ~ (e) に当てはまる語句を書き入れなさい。
 問2 ①に該当する天皇を次から選べ。()継体 (○)欽明 ()敏達 ()用明
 問3 ②は西暦何年か。(538)
 問4 この史料の出典名を答えよ。(**上宮聖徳法王帝説**)

[07] (史料集34~35、教科書35ページ)

A. 一に曰く、(a **和**)を以て貴しとなし、忤ふること無きを宗とせよ。
 二に曰く、篤く(b **三宝**)を敬へ。三に曰く、(c **詔**)を承りては必ず謹め。
 B. ①^{すくね}推古天皇十五年秋七月庚戌、②^{おの}大^{おの}礼^{おの}(d **小野**)臣(e **妹子**)を大唐に遣はす。鞍作福利を以て通事とす。
 C. ③^{おほい}大業三年、其の王多利思比孤、④^{あま}使^{あま}を遣して朝貢す。…其の国書に曰く「日出づる処の(f **天子**)、書を日没する処の(g **天子**)に致す。恙無きや云云」と。⑤^{あま}帝^{あま}、之を覽て悦ばず、鴻臚卿に謂ひて曰く「蛮夷の書、無礼なる有らば、復た以て聞する勿れ」と。

- 問1 (a) ~ (g) に当てはまる語句を書き入れなさい。
 問2 Aの史料(法典)の名称を答えよ。[**憲法十七条**] ※『日本書紀』ではない。
 問3 ①・③は同じ年であるが、西暦何年にあたるか。[607]
 問4 下線部②は[**冠位十二階**]の第五階である。空欄に当てはまる語句を書きなさい。
 問5 下線部④・⑤は誰か。④ [**小野妹子**] ⑤ [**煬帝**]
 問6 B・Cの出典を書きなさい。 B [**日本書紀**] C [**隋書倭国伝**]

[08] (史料集36ページ)

①^{あかつき}天智天皇九年夜半之後に(a **法隆**)寺に災けり。一屋も余ること無し。大雨ふり^{あま}雷^{あま}震る。

- 問1 (a) に当てはまる語句を書き入れなさい。
 問2 ①は何世紀のことか。(7)世紀
 問3 この史料の出典を答えよ。(**日本書紀**)

[09] (史料集39～40、教科書38ページ)

其の一に曰く、「昔在の天皇等の立てたまへる(a 子代)の民、処々の(b 屯倉)、及び、別には臣・連・(c 伴造)・(d 国造)・村首の所有る(e 部曲)の民、処々の(f 田莊)を罷めよ。仍りて(g 食封)を大夫より以上に賜ふこと、各差あらむ。
其の二に曰く、初めて京師を修め、畿内・国司・①郡司・関塞・斥候・防人・馱馬・伝馬を置き…

問1 (a)～(g)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 この史料の名称を答えよ。[改新の詔]

問3 下線部①を、木簡など当時の記録で実際に用いられていた文字表記に改なさい。[評]

[10] (史料集43、66ページ)

A. 大君は ※ 赤駒の 腹這ふ田居を 都と成しつ
B. 熟田津ル 船乗世武登 月待者 潮毛可奈比沼 今者許藝乞菜

問1 ※に入る「神だから」という意味の句を書きなさい。(神にし坐せば)

問2 A・Bの歌の作者を答えよ。A(大伴御行) B(額田王)

問3 これらの史料の出典を答えよ。(万葉集)

問4 Bについて、天皇らが「熟田津」にいたのはなぜか。簡単に答えよ。
(百済救済の出兵のため) ※解答は7ページ(A)

[11] (史料集45～48ページ)

【戸と里】凡そ戸は《ア 五十》戸を以て里と為よ。里毎に長一人を置け。…

【戸籍】凡そ戸籍は、《イ 六》年に一たび造れ。…

【口分田】凡そ(a 口分田)を給はむことは、男に《ウ 二》段。女は三分が《エ 一》を減ぜよ。
《オ 五》年以下には給はざれ…。

【歳役と庸】凡そ(c 正丁)の歳役は《カ 十》日。若し(d 庸)を取るべくんば、…
布《キ 二》丈《ク 六》尺。

【衛士防人】凡そ兵士の上番せむは、京に向はむは《ケ 一》年、防に向はむは《コ 三》年、行程を計へず。凡そ兵士の京に向ふをば(e 衛士)と名づく。辺を守るをば(f 防人)と名づく。

問1 (a)～(f)に当てはまる語句を、《ア》～《コ》には数値を書き入れなさい。

問2 これらの史料の出典は何か。(令義解) ※解答は7ページ(B)

[12] (史料集57、教科書54ページ)

詔して曰く、「率士の百姓、四方に(a 浮浪)して(b 課役)を規避し、遂に王臣に仕へて、或は(c 資人)を望み、或いは①得度を求む。…」 『(d 続日本紀)』

問1 (a)～(d)に当てはまる語句を書き入れなさい。※dはこの史料の出典

問2 ①の意味を書きなさい。(僧になる)

[13] (史料集58～59、教科書56ページ)

…伏廬の 曲廬の内に 直土に 藁解き敷きて 父母は 枕の方に 妻子どもは 足の方に 囲み居て 憂へ吟ひ 竈には 火気ふき立てず 甑には 蜘蛛の巣懸きて 飯炊く 事も忘れて …楚取る①五十戸良が声は寝屋戸まで 来立ち呼ばひぬ …。

問1 この史料(歌)の名称と作者を答えよ。(**貧窮問答歌**) (**山上憶良**)

問2 この史料(歌)の作者を答えよ。(**山上憶良**)

問3 ①は何と読むか(**さとおさ**)、また普通はどのような漢字を当てるか(**里長**)。

[14] (史料集62、教科書53ページ)

太政官奏すらく「頃者百姓漸く多くして、田池窄狭なり。望み請ふらくは、天下に勸め課せて、田疇を開闢かしめん。其の新たに(a **溝池**)を造り、(b **開墾**)を営む者有らば、多少を限らず、給ひて(c **三世**)に伝へしめん。若し旧き(a)を逐はば、其の(d **一身**)に給せん」と。

問1 (a)～(d)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 この法令の名称(**三世一身法**)と出典(**続日本紀**)を答えよ。

問3 この法令が出されたのは西暦何年か。(**723**)年

[15] (史料集62～63、教科書53ページ)

詔して曰く、「聞くならく、(a **墾田**)は①養老七年の格に依りて、限満つるの後、例に依りて(b **收授**)す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る、と。今より以後、任に(c **私財**)と為し、(d **三世一身**)を論ずること無く、咸悉くに(e **永年**)取る莫れ」と。

問1 (a)～(e)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 下線部①は何を指しているか。(**三世一身法**)

問3 この法令の名称を答えよ。(**墾田永年私財法**)

問3 この法令の名称(**墾田永年私財法**)と出典(**続日本紀**)を答えよ。

問4 この法令が出されたのは西暦何年か。(**743**)年

[16] (史料集63ページ)

①勅すらく「今聞く、(a **墾田**)は②天平十五年の格に縁るに、自今以後、任に(b **私財**)と為し、(c **三世一身**)を論ずること無く、咸悉くに(d **永年**)取ることなかれ、と。是に由りて、天下の諸人競ひて(a)を為し、勢力の家は百姓を駈役し、貧窮の百姓は自存するに暇なし。自今以後、一切に禁断して(e **加墾**)せしむること勿れ。但し(f **寺**)は先来の定地開墾の次は禁ずる限に在らず。又当土の百姓、一、二町はまた宜しくこれを許すべし。」

問1 (a)～(f)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 下線部①は誰の「勅」か。(**称徳天皇**) ※解答は7ページ(C)

問3 下線部②は何を指しているか。(**墾田永年私財法**)

問4 この法令の名称と出典を答えよ。(**加墾禁止令**) (**続日本紀**)

問5 この法令が出された時の政権担当者は誰か。(**道鏡**) ※解答は7ページ(D)

[17] (史料集68～69ページ、教科書51ページ)

詔して曰く「…宜しく天下諸国をして各敬みて(a **七重塔**) 一区を造り、并せて金光明最勝王經・妙法蓮華經各一部を写さしむべし。…僧寺には必ず廿僧有らしめ、其の寺の名を①**金光明四天王護国之寺**と為し、尼寺には一十尼ありて、其の寺の名を②**法華滅罪之寺**と為し…」

問1 (a) に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 下線部①・②はふつう何と呼ばれているか。①(**国分寺**) ②(**国分尼寺**)

問3 この法令の名称(**国分寺建立の詔**)と出典(**続日本紀**)を答えよ。

問4 この法令が出されたのは西暦何年か。(**741**)年

[18] (史料集69～70ページ、教科書51ページ)

詔して曰く…①**天平十五年**歳次癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を発して(a **盧舎那仏**) の金銅像一軀を造り奉る。…夫れ天下の富を有つ者は②**朕**なり。天下の勢を有つ者も朕なり。此の富勢を以てこの尊像を造る。事や成り易き、心や至り難き。…」

問1 (a) に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 ①は西暦何年か(**743**)年

問3 ②は誰か。(**聖武天皇**)

問4 この法令の名称(**大仏造立の詔**)と出典(**大仏造立の詔**)を答えよ。

[19] (史料集73ページ)

予^{われ}二十余年以来、東西の二京^{あまね}を歴く見るに、(a **西京**)は人家^{ようや}漸く^{まれ}に稀^{ほとほと}らにして、殆^{ゆう}に幽墟^{きよ}に^{ちか}幾し。 『(b **池亭記**)』

問1 (a) ～(b) に当てはまる語句を書き入れなさい。※bはこの史料の出典

問2 この史料の出典と著者を答えよ。(**慶滋保胤**)

[20] (史料集74ページ)

勅有りて参議右衛士督^{さんぎうえじのかみ}従四位下^Aと参議左大弁正四位下^Bとをして、天下の(a **徳政**)を(b **相論**)せしむ。時に^A、議^いして云く、「方今^{いま}、天下の苦しむ所は(c **軍事**)と(d **造作**)となり。此の両事を停^{とど}めば百姓^{ひやくせい}安んぜむ」と。^B、異議^{いぎ}を確執^{かつしつ}して肯^あてて聴^きかず。①**帝**、^Aの議^ぎを善^よしとし、即^{すなわ}ち停廢^{ちようはい}に従ふ。

問1 (a) ～(d) に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 ^A・^Bに当てはまるのは誰か、以下から選べ。A(ウ) B(ア)

ア. 菅野真道 イ. 菅原道真 ウ. 藤原緒嗣 エ. 藤原種継

問3 ①は誰か、天皇名を答えよ。(**桓武天皇**)

[2 1] (史料集80ページ)

諸公卿をして(a **遣唐使**)の進止を議定せしめんことを請ふの状
 右、①臣某、謹んで(b **在唐**)僧中瓊、去年三月(c **商客**)王訥等に附して到す所の
 録記を案ずるに、(d **大唐**)の凋弊、之を載せること具なり。

問1 (a)～(d)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 ①は誰か。(**菅原道真**)

問3 この史料の出典を答えよ。(**菅家文草**)

[2 2] (史料集77ページ)

太政官符す
 応に(a **勅旨**)開田並びに諸院諸宮及び五位以上、(b **百姓**)の(c **田地**)しゃたく舎宅を買い
 取り閑地荒田を占請するを停止すべき事

問1 (a)～(c)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 この史料の名称を答えよ。(**延喜の荘園整理令**)

問3 この時の天皇と左大臣は誰か。(**醍醐**)天皇・(**藤原時平**) ※解答は7ページ(E)

[2 3] (史料集82～83、教科書70ページ)

(寛仁二年十月)十六日乙巳、今日、女御藤原(a **威子**)を以て(b **皇后**)に立つるの日なり。…
 ①太閤②下官を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし。」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや。」又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず。」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたることも無しと思へば」。③金申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し。満座只此の御歌を誦すべし。…」と。 『(c **小右記**)』

問1 (a)～(c)に当てはまる語句を書き入れなさい。※jはこの史料の出典

問2 ①～③は誰のことか、それぞれ名前を書きなさい。

① [**藤原道長**] ② [**藤原実資**] ③ [**藤原実資**]

[2 4] (史料集85、教科書79ページ)

(a **尾張**)国(b **郡司**)(c **百姓**)等(d **解**)し申し請ふ官裁の事。
 裁断せられむことを請ふ、当国の(①)藤原朝臣(e **元命**)、三箇年の内に責め取る非法の
 (f **官物**)あわせて濫行横法三十一箇条の□□(愁状)
 一、…②例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加徴せる正税四十三万千二百四十八束が息利の
 十二万九千三百七十四束四把一分の事。

問1 (a)～(f)に当てはまる語句や人名を書き入れなさい。

問2 (①)に当てはまる語句は国司の長官を表す漢字1字である。書きなさい。(**守**)

問3 下線部②の意味は「定例の(**出挙**)」である。空欄を正しく埋めよ。

[25] (史料集98、教科書74ページ)

夫れ(a **往生極楽**)の教行は、濁世末代の目足なり。道俗・貴賤、誰か帰せざる者あらむ。但し(b **顕密**)の教法は、其の文、一に非ず。事理の業因は、其の行、惟れ多し。利智・精進の人は、未だ難と為さざらむも、①予が如き頑魯の者、豈に敢えてせむや。是の故に(c **念仏**)の一門に依りて、聊か経論の要文を集む。之を披きて之を修すれば、覚り易く、行ひ易からむ。

問1 (a)～(c)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 下線部①は著者であるが、誰か。[**源信**]

問3 この史料の出典を答えなさい。[**往生要集**]

[26] (史料集86～87ページ)

今ハ昔、(a **信濃**)守(b **藤原**)ノ(c **陳忠**)ト云フ人有ケリ。…守「僻事ナ云ヒソ。汝等ヨ、宝ノ山ニ入テ、手ヲ空シクシテ返タラム心地ゾスル。『(d **受領**)ハ倒ル所ニ(e **土**)ヲツカメ』トコソ云ヘ」ト云ヘバ…

問1 (a)～(d)に当てはまる語句を書きなさい。

問2 この史料の出典を答えなさい。(**今昔物語集**)

[27] (史料集88～89ページ)

三の君の夫は、出羽権介田中豊益なり。偏に(a **耕農**)を業と為し、更に他の計なし。数町の戸主、(b **大名の田堵**)なり。兼ねて水旱の年を想ひて鋤・鋤を調へ、暗に腴え迫せたる地を度りて馬杷・犁を繕ふ。或は堰塞・堤防・罫渠・畔畷の忙に於て、田夫農人を育み、或は種蒔・苗代・耕作・播殖の営に於て、五月男女を労るの上手なり。

問1 (a)～(b)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 この史料の出典を答えよ。(**新猿楽記**)

[28] (史料集90～91、教科書81ページ)

①鹿子木の事

一、当寺の相承は、(a **開発領主**)沙弥寿妙嫡々相伝の次第なり。

一、寿妙の末流高方の時、(b **権威**)を借らむがために、実政卿を以て(c **領家**)と号し、

(d **年貢**)四百石を以て割き分ち、高方は庄家領掌進退の(e **預所**)職となる。

一、実政の末流の願西微力の間、(f **国衙**)の乱妨を防がず、この故に願西、(c **領家**)の得分二百石を以て、②高陽院内親王に(g **寄進**)す。……これ則ち(h **本家**)の始めなり。

問1 (a)～(h)に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 下線部①は「(**肥後**)国」にあった。空欄を正しく埋めよ。

問3 下線部②の父親はだれか、書きなさい。(**鳥羽上皇**)

解答 (A)百済救済の出兵のため (B)令義解 (C)称徳天皇 (D)道鏡 (E)醍醐・藤原時平
(F)4:齊明 5:白村江の戦 6:真備 7:かみ 8:345日(30×2+60×4+15×3)

①臣去る②寛平五年備中介に任ぜらる。かの国の下道郡の邇磨郷あり。ここに彼の国の風土記を見るに、③皇極天皇六年、…大唐の將軍蘇定方、(a 新羅)の軍を率ゐ(b 百濟)を伐つ。…天皇筑紫に行幸し、④將に救兵を出さんとす。…路に下道郡に宿す。…試みに此の郷の軍士を徴す。即ち勝兵二万人を得たり。天皇大いに悦び、この邑を名づけて二万郷と曰ふ。後に改めて邇磨郷といふ。…⑤天平神護年中、右大臣⑥吉備朝臣、大臣を以て本郡の⑦大領を兼ね、試みにこの郷の戸口を計ふるに、纔に課丁千九百余人有り。⑧貞觀の初めに、故民部卿藤原保則朝臣、其の課丁を閲するに、七十余人あるのみ。(c)任に至り又此の郷の戸口を閲するに、⑨老丁二人、正丁四人、中男三人ありしのみ。去る⑩延喜十一年、かの国の介藤原公利、任満ちて都に帰る。(c)、邇磨郷の戸口、当今幾何と問ふ。公利答へて曰く「一人も有ること無し」と。謹みて年紀を計ふるに、皇極天皇六年庚申より、延喜十一年辛未に至るまで、纔に二百五十二年、衰弊の速かなること亦既に此の如し。一郷を以て之を推すに、天下の虚耗、掌を指して知るべし。

問1 (a) ~ (b) に当てはまる語句を書き入れなさい。

問2 ①は(c) と同一人物である。氏名を書きなさい (三善清行)

問3 ②・③・⑤・⑧・⑩にあてはまるものを次から選んで記号で答えよ。

②(エ) ③(ア) ⑤(イ) ⑧(ウ) ⑩(オ)

ア. 7世紀 イ. 8世紀 ウ. 9世紀半ば エ. 9世紀末 オ. 10世紀

問4 ③正しくは「皇極」ではなく「 齊明天皇 」である。空欄を埋めよ。※以下解答は左ページ(F)

問5 ④この時の戦争の名称を答えなさい。(白村江の戦)

問6 ⑥の名を答えよ。(吉備真備)

問7 ⑦の(「だいらょう」以外の) 読み方を答えよ。(かみ)

問8 ⑨について、この郷の雑徭の日数を(律令の規定通りで) 計算せよ。(345)日

追加 [30] (史料集30~31ページ)

(継体天皇)二十一年の夏六月…、近江毛野臣、衆六万を率て、(a 任那)に往きて、(b 新羅)に破られし南加羅・勳己吞を為復し興建て、(a)に合せむとす。是に、筑紫(c 国造)(d 磐井)、陰に叛逆くことを謀りて、…(b)、是を知りて、密に貨賂を(d)が所に行りて、勸むらく、毛野臣の軍を防遏へよと。

二十二年の冬十一月…、大將軍(e 物部大連鹿火)、親ら賊の帥(d)と、筑紫の御井郡に交戦ふ。…遂に(d)を斬りて、果して疆場を定む。

十二月に、筑紫(g)葛子、父のつみに坐りて誅せられむことを恐りて、糟屋(h 屯倉)を献りて、死罪贖はむことを求す。 『(i 日本書紀)』

問1 (a) ~ (i) に当てはまる語句や人名を書き入れなさい。※iはこの史料の出典